

平成22年度 第4回長野市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時 平成22年10月8日(金) 13:30~16:30

会 場 長野市ふれあい福祉センター5階ホール

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会 議

前回審議会の議事録の承認

- ・修正意見なし、承認される

(1)上下水道事業に関する勉強会について

資料により事務局から説明

(内容省略)

(2)長野市下水道中期ビジョン基本計画(案)について

(3)パブリックコメントの実施(案)について

(2)(3)について資料により事務局から一括説明

(内容省略)

質疑応答等

〔会 長〕

- ・将来像を先に検討してから各論に入っていきたい。

【会長の指示により事務局案を配布】

〔会 長〕

- ・将来像が大きなメッセージとなる。
- ・中期ビジョンの内容を端的に表し、市民に分かりやすいことが重要となる。

〔委 員〕

(意見なし)

〔会 長〕

- ・各論を先に検討し、ビジョンの内容がまとまってから、将来像を検討することとしたい。

〔委 員〕

- ・地震対策について、巨大な地震の際には対策をとったところで耐えられない。費用対効果が疑問である。
- ・浸水対策のインフラ整備は下水道使用料の負担になるのか。

〔事務局〕

- ・ 地震対策については基準がある。昭和 56 年の法改正前に建設して基準に適合していない施設は、基準に合わせるよう進めている。
- ・ 浸水対策については、農業用水・雨水渠・雨水調整池・排水ポンプ等の建設は公費で対応しており、下水道使用料には反映しない。
- ・ 地震対策については、効果を見込んで整備をしている訳ではない。予防という観点から災害に強いまちづくりを進めている。

〔委員〕

- ・ 雨水渠面積整備率が 10 年で 4%位しかあがっていない、もう少し整備率をあげることはできないか。7月の豪雨で墓地が砂で埋まってしまった。どうしてこうなったか情報が入ってこないのでは情報がほしい。

〔事務局〕

- ・ 雨水渠整備は、今まで年間 10ha 程度の整備を行ってきたが、汚水管の整備が終了してくるということで、今後は年間 38ha 程度のペースで浸水被害の解消を図っていく。
- ・ 浸水対策は家屋への浸水被害の解消を優先して整備を行っている。できるだけ被害が出ないように事業を進めていくのでご理解いただきたい。
- ・ 大雨等の情報があった場合には、いち早く遠隔操作で用水路の取水口水門を閉め、用水を空にして雨水を受けるようにしている。

〔委員〕

- ・ 3 ページに将来像をビジュアル化したものがあるが、5 つの基本目標が将来像にリンクしていない。
- ・ 下水道ビジョンは長野市から市民に対するメッセージだと考えている。市民からすると大前提に「暮らし」があって、暮らしをいかに良くしていくかということで「安全」「環境」「施設再生」「経営管理」があるのではないか。
- ・ 将来像のテーマ 8 つ事務局案を示されたが、どれもじっくりこない。
- ・ 38 ページ「現状分析のまとめ」は、マイナスイメージのものばかり、長野市下水道がもっと誇れるような現状はないのか。市民は負の遺産ばかりを抱えて、明るい未来が設計できるか疑問に思う。

〔会長〕

- ・ 現状分析は客観的にシビアにあるべきで、目標である理想像とのギャップをどう埋めるか、どういうプロセスにするか書かれるものが経営計画である。
- ・ 現状と理想像は切り分けて書いた方が市民には理解されると思う。

〔事務局〕

- ・ 策定の趣旨は、今後の社会情勢の変化にどう対応していくかということであり、現状分析の部分をもとに今後の変化に対応する下水道事業を考えていく、どのよ

うにマイナスイメージをクリアしていくかということがビジョンに書かれている。

〔会 長〕

- ・ 学術的に言うと、ビジョンとは、何があるべきか、こういう夢があるというもので、目標や施策を表す言葉ではない。ビジョンの定義が間違っており、行政の言葉で言うと「計画」である。このことを前提に議論を進めていただきたい。

〔委 員〕

- ・ ビジョンの中に計画がいくつか書かれているが、市民に分かりやすくするために優先順位をつける必要があるのではないか。

〔委 員〕

- ・ 3ページ長野市総合計画の4つの施策の中に「緑化・親水空間の充実・創造」とあるが、具体的にはどのようなことか。施策に優先順位があるか。

〔事務局〕

- ・ 総合計画には長野市全体のことが書かれており、長野市全体としてビオトープなどの緑化を図っていくというもの。ビジョンの中には具体的な内容は書いてないが、上下水道局としても処理場の緑化や処理水を利用した親水施設の設置などを進めていくもの。
- ・ 3ページのイメージ図の考え方は、5つの基本目標に対する具体的な方針が「主要施策の立案と実施」に書かれ、さらに実施方策があり、全体でビジョンを構成している。ただし、この図では分からないということであれば、イメージ図を誰が見てもわかりやすい形に書き直したい。

〔委 員〕

- ・ 5つの基本目標の項目は、同じテーブルには上がらない言葉である。

〔会 長〕

- ・ 市民にとっては、「暮らし」「安全」「環境」が目標となる。「施設再生」「経営管理」は目標を達成させるための手段である。それぞれに達成目標があり、それらがどのように相互関連していくか図に表す必要がある。
- ・ 全体の仕組みを変えずに絵の書き方を修正する。事務局と打ち合わせをさせていただき、修正案を委員の皆さんへお送りしたい。

〔委 員〕

- ・ 過去の審議会で資本費算入率を高めて100%を目標にすると書かれているが、今回の計画は資本費算入率を上げるような計画になっていない。過去の審議会の考え方は守るべきものなのか。

〔事務局〕

- ・ ビジョンの財政推計は料金を据え置いた前提で作成するとキャッシュベースでマイナスになると推計したもの。今後、何らかの手段をお願いしていかなければ

ればならない。手段としては一般会計から繰り入れるか使用料を値上げするか
の2通りしかないが、ビジョンの中では具体的には書くことはできない。

〔委員〕

- ・ 相当額の値上げをしないと現実的には追いつかないのではないか。財源の裏づけがないのに事業を掲げるのは無責任ではないか。
- ・ 足りなくなることが分かっている、しかも市民に犠牲を強いるものであるなら、事業に優先順位をつける必要があるのではないか

〔会長〕

- ・ 市の事業と民間の大きな違いは、市の事業は市民に対し強制力を持つということ。民間であれば他の業者のサービスを選択することができる。
- ・ 委員が困惑している点もあるので、市が審議会へ何を求めているのか、審議会がどこまで責任を持つのか、再度明らかにしてもらいたい。また、中期ビジョンはどのような役割を果たすのか位置づけを説明してもらいたい。

〔事務局〕

- ・ 3ページの図については、修正内容について会長と相談させていただき、委員へ送付したい。
- ・ 長野市総合計画には、上下水道について具体的なことは書かれていない。
- ・ 上下水道のビジョンについては、水道ビジョンが先行して厚生労働省から、少し遅れて下水道中期ビジョンが国土交通省から作るように指導があって、県・市でも作っているもの。
- ・ 下水道中期ビジョンについては、審議会へ諮問をして答申という形ではなく、審議委員やパブリックコメントで市民の意見を求めて、できるだけ意見を吸い上げてビジョンを作っていくもの。

〔会長〕

- ・ 計画はあくまで長野市が作るものであり、委員は案に対して意見を言うという立場なので、忌憚のない意見を頂戴したい。
- ・ 事業の優先順位については、審議会の中で順位付けをすることはできない。ただし、使用料の改定の際には緊急度、どのような優先順位であれば市民に理解してもらえるか、こういう方向だからこういう料金ですということを示す必要がある。
- ・ 下水道中期ビジョンにより、今後10年間はこんな方向でいきますということをも市民へお知らせした上で、次年度で具体的な負担をどうするかという手順になる。

【休憩】

〔会 長〕

- ・ ビジョンの位置づけについて、拘束力はないということは確認できたと思う。料金改定の際には細かい数字の話をしていくが、ビジョンは違って、現在の延長線上で今後 10 年はこう進んでいくということがまとめられているもの。
- ・ 第 7 章の財政収支の見通しの財政シミュレーションについて細かい数字が出ているが、水道ビジョンの際には細かい数字は出していない。
- ・ 料金改定の際には、数字は厳格にしていかなければならないが、ビジョンの中では現状で行くと収支が厳しくなるということを知ってもらうためのものという位置づけにしたい。

【 3 ページの図についてホワイトボードへ会長私案を書く 】

〔委 員〕

- ・ 安全の項目に浸水対策が入っているのは理解できるが、地震対策は安全になじまない。施設再生の項目ではないか

〔事務局〕

- ・ 地震対策に限らず、インフラ整備については、何か起きても最低限継続できるような施設を作らないと快適な生活が担保されない。大きな地震があっても壊れないということだけを念頭に置いて災害対策をするのではないということを理解していただきたい。

〔委 員〕

- ・ 下水道を壊れないように作るのが目標ではなく、下水道を壊れないようにして市民の暮らしを向上させることが目標ではないか。

〔委 員〕

- ・ 安全にこだわらずに安定供給というような言葉でいいのではないか。

〔委 員〕

- ・ 地震対策は必要じゃないという訳ではないが、下水道を整備して地震が無くなる訳ではないし、地震に対して生活が良くなるということでもないと思う。

〔委 員〕

- ・ 目標に生活環境の向上を掲げるのであれば、むしろ安全性の確保というようなことだと思う。
- ・ 環境については、別の要素を入れた方がいい。あえて環境を掲げる必要はないと思う。

【 会長私案へ修正を加える。 】

〔会 長〕

- ・ 地震対策は施設マネジメントの一つとして、施設再生の方がいいかもしれないが、事務局で対応できるか。
- ・ 基本目標という言葉の基本施策に修正し、それに合わせて基本方針という言葉

を変えていくという形でもよいか。

【会長私案へ修正を加える。】

- ・ ここまできているので、大幅な変更を加えずに修正したい。

〔委員〕

- ・ お客様サービスという言葉が気になる。経営的に厳しい状況であるということを書いておきながら最後のところで「お客様サービス」という言葉を使ってしまうと不整合が生じるのではないかと。むしろ「市民サービス」という言葉に置き換えたらどうか。

〔会長〕

- ・ ここで言っているのは情報提供の話だと思う。市民意見を収集して経営改善に役立てていこうという趣旨ではないか。顧客サービスだと意味が違ってきってしまうので、むしろ利用者からの意見の吸い上げなどに変えた方がいいか。

〔事務局〕

- ・ 行政の場合、普通は市民サービスという言葉を使うが、あえて「お客様」としたのは、上水道の場合は県水エリアの方は、市民であってもお客様じゃない。下水道の場合は市民であってもし尿処理している方は市民であってもお客様じゃないという方がいる。公営企業なので利用している方をお客様と定義しているということ。
- ・ 紛らわしいということであれば、市民サービスに変えさせていただくが、趣旨はそういうこと。

〔会長〕

- ・ 基本的な部分については今日中にまとめたい。細部については事後で皆さんへお送りできるようにしたい。

〔委員〕

- ・ 将来像については、2番（暮らしと水環境を守る長野市の下水道）がいいと思う。生活環境の向上を目標に掲げるのであれば、それを総括しているのは2番だと思う。

〔会長〕

- ・ 取りまとめに入りたいが、3ページのイメージ図については、私が出したアウトラインの方向で私と事務局でまとめたい。
- ・ 将来像については、事務局案が8つ出ているが、2案がいいという意見が出ている。それ以外が良いという意見があれば出してほしい。

〔委員〕

- ・ 1案の「形成する」はビジョンの将来像ではない。2案の「守る」も消極的だと感じる。その言葉を「向上」とか「充実」に変えていただければスッキリする。

〔会 長〕

- ・ 1案でいけば「安全で快適な生活環境を充実させる長野市の下水道」、2案でいけば「暮らしと水環境を向上させる長野市の下水道」となると思うが、どちらかということによいか。
- ・ 1案と2案で挙手をしていただきたい。

【2案多数】

〔会 長〕

- ・ 将来像は、2案の「暮らしと水環境を向上させる長野市の下水道」と定めさせていただく。
- ・ 3ページの図については、事務局と相談させていただき、委員へお送りする。ご意見があればお聞きし、重要なご意見以外であれば会長一任とさせていただきたい。
- ・ 3ページの図の修正に合わせて、ビジョンの順番や項目を修正させていただくが、大枠としては、この形でパブリックコメントに供するというご了承をいただきたい。

【会長指示によりパブリックコメントの提案用紙を委員へ配布】

- ・ 料金改定と違って細かい具体的な話ではなく、方向性を示すビジョンに対するご意見をいただくということで大項目ごとに意見をいただく形にしたい。事務局と相談する中で、ビジョンの骨格になるような項目を示して意見を求めないとおそらく意見は来ないだろうということから、意見を出しやすい形にした。

〔委 員〕

- ・ 項目を設定してパブリックコメントを実施することに賛成する。提案用紙には、自由意見欄を加えておいた方がいい。

〔会 長〕

- ・ そのような形で修正する。

(4)その他

次回、審議会の予定について事務局から説明

(終了時間 16:30)